

令和3年9月6日

加盟校選手・関係者各位

関東学生卓球連
会長 鈴木 一雄



第87回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部予選会について

さて、現況の中で安全を100%確保しての大会開催はまず不可能であり、感染拡大のピークが読めなかった8月末には一旦9月上旬の予選会は中止とさせて頂きました。

先般、日学連正副会長、各ブロック学連理事長、学生常任幹事、学生幹事らによる10月末の「第87回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部」開催につきましてWeb会議が開かれました。確かに今は難しい局面ではあるが、運営側が新型コロナ感染防止対策を徹底し、参加する側も普段の生活で自分自身を律し健康な状態で参加することで、運営側、選手側双方が局面を理解し協力して開催して頂きたいという意見が多数ありました。これは特に今の選手諸君の気持ちを反映してのものと思われま

す。また他競技や8月開催のインターハイ卓球競技、全国中学生卓球競技はそれぞれガイドラインの周知徹底や感染予防対策などを行い、運営側と選手側が協力して大会が実施され成功裏に終わったことを伝え聞いております。

これらを受けまして、首都圏の各県に対して発令されております新型コロナ感染症に対する緊急事態宣言がたとえ延長されたとしても、16日、17日に控えた予選会につきましては、自治体からの中止要請がない限り、10月末に開催される本戦に対しての試金石大会という位置づけとしまして開催致します。

つきましては、別紙「チーム状況申告書」により、参加する大学において感染者、濃厚接触者、体調不良の者がいるかどうかを各大学監督又は責任者が正確に報告して頂き、運営側としてもチーム状況を把握したいと思います。これらの内容に虚偽があったり、ガイドラインを遵守できなかったりした場合は、関東学連としても厳しい対応を取らざるを得ません。

運営側も参加する側もそれぞれが緊急事態の中での大会開催であるという自覚と覚悟を持ち、参加される選手他関係者の方々のご理解ご協力よろしくお願い致します。

以上